



**かどわきっ子**

# めざす児童像

「やさしく・かしこく・たくましく」のアップのために「チャレンジ」すること。第2回目は「読む力」についてです。



昨年度は、「読書を頑張ろう」としていました。本は頭と心の栄養になります。小学生までの読書体験は、その後一度途絶えたとしても、大人になったときに自然と本屋に足が向いたり、興味が湧いて手に取ったりします。

今年度は「音読」をテーマにして取り組みます。音読には、次の6つの効果があると言われています。(※日本速読解力協会)

- ① 集中力が鍛えられる。
- ② 内容を理解しやすくなる。
- ③ 漢字の読みを覚える。
- ④ 語彙が身に付く。
- ⑤ 脳が活性化する。
- ⑥ コミュニケーション能力が向上する。

教科書に書かれていること、問題に書かれていることをすばやく読んで理解することは、全ての学びの基礎になる力です。やればやった分だけ向上します。全員が「スラスラ読む」ことを目指して、各学級で取り組みます。



では、御家庭でできることは何か。次の4つを意識してみましょう。

- ① うまく読めなくても注意しない。
- ② しっかりと向き合って聞く。
- ③ 内容について質問する。
- ④ 前向きになる言葉を掛ける。

注意されるのではなく、しっかりと向き合い、温かく見守られることで子どもの満足感が増します。嫌な気持ちでは、脳は活性化しません。具体的に良かった点を言ってもらえると、子どもは自信を付けます。お子さんが音読をするとき、少しでも参考にしていただけたら幸いです。

# 児童引渡し訓練

明日12日(火)は、近年増えている豪雨災害に備えて、初めての試みではありますが、「児童引渡し訓練」を実施します。



学校から保護者の皆様へ緊急のお迎えを依頼するのは、大雨以外にも「地震、噴火、火災、不審者、Jアラート」などいろんな場面が考えられます。定期的に訓練を繰り返すことで、スムーズな引渡しができるようになります。初めてのことでありますので、問題点が多く出てくるかもしれません。その一つ一つを次に生かしていきますので、お気付きの点を訓練後のアンケートにお書きいただけたらと思います。

本日、お昼に「訓練予告メール」を配信しています。メールを御覧いただくとともに、先日お配りした実施計画書で詳細を御確認ください。

# ちょっとブレイク



今年のゴールデンウィーク、いつも以上に長かったので、子どもたちは大喜びだったことでしょう。一緒に過ごす時間が増えると、ついつい出てしまうのが子どもへの小言です。最近の研究では、よかれと思って発したアドバイスが、子どもの心を傷つけてしまうことがあると言われています。

アドバイスとは何か。それは、「ここがよくないね。足りないね。そこを直すといいよ。」という指摘、いわゆる「ダメ出し」です。学習の成果物、テストやプリント、お手伝い…。褒めたりお礼を言ったりした後に、つついアドバイスをつけ加えがちです。

ここでは、子どもの心は満たされません。そのうち、あまり話さなくなってしまう。大切なのは、子どものありのままを受け入れることです。嫌なことを言われないと分かったら、近づいても来ますし、話しかけるようになります。



子育ては難しいものですが、子どものおかげで学ぶことが多くあり、親として成長させてもらいました。反省ばかりなのですが…